

海外派遣留学プログラム「帰国報告書」

記入日	2024/7/1
所属学部・研究科・学府	国際教養学部
所属学科・専攻	国際教養学科
留学時の学年	学部2～3年

1. 留学先について

留学先大学名		Keele University											
留学先所属学部等		なし											
留学期間	出発日	2024/1/16		入学期	2024/1/17		修了日	2024/6/7		帰国日	2024/6/8		
住居	☒	大学(紹介)の寮・アパート			☐	民間アパート			☐	その他 ()			
	住居の決め方		ホームページから寮の写真や設備を見て選びました。										
	通学時間		寮から教室まで徒歩10分圏内							☒	On campus		
	通学方法		徒歩										
	居室スペース ☒ を入れてください		☒	個室	☐	() 人部屋		☐	その他 ()				
	共有スペース ☒ を入れてください		☐	完全個室	☒	キッチン	☒	トイレ	☒	バス	☐	リビング	☐
食事	自炊	70 %		学食	20 %		外食	10 %		その他 % ()			
保険	海外旅行保険 (名称・加入プラン名)		JTBトータルサポートプログラム・Iプラン										
	留学先国・大学指定保険 (名称・加入内容)										☐	加入必須	
	その他加入保険												
渡航ルート		ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)											
		羽田		⇄		ロンドン(飛行機)				⇄		マンチェスター(飛行機)	

2. 留学資金の内訳 *☒を入れて、金額を記入してください。

自費	☒	貯金	100,000 円	☐	アルバイト	円	☐	その他	円
援助	☒	親	720,000 円	☐	家族・親戚	円	☐	その他	円
奨学金	☒	JASSO	400,000 円	☐	その他名称 (ENGINEサポート)			50,000 円	
その他	☐	()							円

3. 留学にかかった費用

総費用	約	1,270,000 円
-----	---	-------------

3-1. 留学にかかった費用：内訳 *外貨で払ったものについては日本円に換算したおよその金額も記入してください。

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			314,850	円
JTBトータルサポートプログラム (海外旅行保険・危機管理サービス)			86,890	円
その他の保険料			0	円
査証・在留許可証			0	円
住居	£	2,620	511,000	円
光熱費			0	円
通信費 (Wi-Fi、SIMカードなど)			9,500	円
食費			288,000	円
通学に要する交通費			0	円
教科書、教材費			0	円
その他大学に支払った経費	£	4 (サークル費)	780	円
その他 (パスポート発給手数料)			16,000	円
その他 (予防接種)			40,000	円

3-2. 各費用の支払い方法☒

* 留学中に利用した方法をご記入ください。（全額クレジットカードで支払った等）

大学に払った費用	クレジットカード
住居にかかった費用	Flywire
その他	クレジットカード・キャッシュパスポート・現金

3-3. お金の管理方法

* 渡航時にどのように資金を持参したかご記入ください。☒

渡航時	✓	現金	60,000 円		✓	その他 (クレジットカード・キャッシュパスポート)	円
留学中		海外送金		キャッシング	✓	その他 (キャッシュパスポートに送金)	
現地での 口座開設		開設した	用意した書類や 気を付けること等 ()				✓ 開設しなかった

4. 学業面

4-1. 履修科目一覧

履修科目名	種類 ex.正規/聴講	単位数	単位互換		
1 Education in Britain:past, present, future	正規	15		有	無
2 Too Poor to Learn: Poverty, Education and Social Policy	正規	15		有	無
3 British Cultural Studies	正規	15		有	無
4 English for Academic Purposes 4	正規	15		有	無
5				有	無

4-2. 授業科目の選択, 登録方法

* 登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など, 具体的に説明してください。|

出国前に受講したい授業の希望を提出し、到着後のオリエンテーションで再び希望調査が取られます。履修を変更したい場合は、オリエンテーションで配られる履修希望の調査用紙を書き換えて、担当の方に直接渡すか、メールで変更内容を伝えます。KLEやキール大学のアプリから履修内容が確認できますが、授業変更が反映されるには少し時間がかかります。
--

4-3. 授業内容, 方法に関して

多くの授業はLectureとTutrial/Seminarに分かれていて、授業時間はそれぞれ1時間ずつです。Lectureで教授の講義を聞き、Tutrial/Seminarで生徒同士でディスカッションを行ったり、グループ発表を行ったりします。ディスカッションで話合った内容を全体に発表するよう求められることもあります。私が取っていた授業は、1つの科目のLectureとTutrialが同じ日に連続で開講されていました。授業のスライド、成績の評価方法などはKLEから確認することができます。また授業の出席については、授業開始10分前から授業が始まるまでの間に、キールアプリで出席ボタンを押します。意外と忘れがちなので気を付けてください！

4-4. 語学力について

予習をせずに授業に行くと絶対に途中から追いつけなくなってしまうので、授業スライドやディスカッションの内容は予め確認して、自分の考えをまとめてから授業に出席するようにしていました。それでもすべて理解できるわけではないので、授業後に講義の録画を見返すこともありました。先生によっては話すスピードがとても早く、プリティッシュアクセントも慣れるまではとても聞き取りにくかったです。ですが語学力を伸ばすためには、単語や文法の勉強というより、友人と積極的にコミュニケーションを取り、英語に慣れることが最も重要だと感じました。最初は周りが英語を話せる人ばかりで委縮してしまいましたが、なるべく留学生向けのパーティーやイベントに参加して、自分から話しかけるようにしました。
--

4-5. 図書館など学内施設について

図書館は24時間利用可能で、自習スペースやパソコンの数も充実しています。またキャンパス内にはKitchen TableやCOSTAなどのカフェもあり、そこで勉強する人も多くいます。ただし円安の影響もあり値段は高いです。私は利用したことがないので詳しいことはわかりませんが、ジムもあります。
--

5. 生活面 *気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。☑

5-1. 住居について

私が住んでいた寮はLindsayのClassicタイプで、下から2番目のグレードの部屋でした。今期から寮の部屋タイプの呼び方が変わるそうですが、ClassicはおそらくStandard Plusに当たると思います。良かったところは、部屋の中に洗面所がついていたところです。Standard Shared HallsとShared Flatsには洗面所が付いていません。悪かったところは部屋の床やシャワー室が少し汚く、キッチンも人によっては片づけずに帰ってしまう人がいたところです。私の部屋は他の人より広い代わりに床が汚く、室内でもスリッパなしで生活することはできませんでした。ですが同じ部屋タイプに住んでいた友人の部屋の床は綺麗だったので、その辺は完全に運だと思います。寮によっては冷蔵庫のものを勝手に食べられたり、Pubに近いため深夜に外で騒いでいる声が聞こえるなどの話も聞きました。トイレはトイレトペーパーを毎回自分で持ち込まないといけないことに驚きました。キッチンやトイレ、シャワーなど皆で共有する場所は綺麗に使うよう心掛けました。

5-2. 食生活について

平日の授業がある日の昼食はKitchen Tableという学内にあるカフェのような場所で済ませることが多かったです。普段の夕食や授業がない日の昼食は自炊をしていました。夜は友人数人で集まって夕飯を作ったり、誕生日パーティーをすることもありました。食材は学内のCo-opで買うことができます。Co-opに会員登録してアプリをダウンロードすると、割引券をもらえたり、メンバーシップ価格で商品を買ったりすることができるので、メンバー会員になることをお勧めします。

5-3. インターネット環境、携帯電話について

スマートフォンのSIMは、行きの飛行機の中で着陸直前に変えました。私はgiffgaffというSIMを使っていたのですが、イギリス国外へ旅行する時に設定を変える必要があり、操作に手こずりました。イギリスだと1ヶ月20ギガで、ヨーロッパだと5ギガという制限があり、色々な場所に旅行に行った月は5ギガ以内におさめるのが大変でした。大学内のインターネット環境は特に問題ありませんが、時々急にWi-Fiが繋がらなくなることがありました。

5-4. 服装について

1月から3月前半まではダウンやコートが必要でした。4月以降は厚手のコートは必要ありませんでしたが、半袖を着るほど暑い日は数日ほどしかなかったと思います。5月にイギリス以外の国に行った際は、半袖で過ごすこともよくありました。ヒートテックは厚手のものと薄手のものを複数枚持って行き、とても役立ちました。衣服は月に1回大学で古着が売られるのでそこで買うか、町の古着屋で買っていました。帰国時に衣服を全てスーツケースに入れることはできなかったのも、使わない服は処分し、冬物の服は国際郵便で先に日本に送りました。

5-5. 健康管理について

日本から頭痛薬や胃腸薬、総合感冒薬などの内服薬を持参した。体調を崩した際は学内のヘルスセンターを利用することができますが、事前にKeele Practiceというものに登録していないと、受診することはできません。到着後早めに登録しておくことをお勧めします。

5-6. 保険、危機管理サービスの利用について *利用実績等をご記入ください。☑

特にありません。

5-7. 課外活動について

Japanese Cultural SocietyというSocietyに所属していました。活動内容は日本の映画鑑賞や恵方巻作り、折り紙などを通して、日本文化に親しみ知ってもらうことです。Societyを通して色々な国の人々と関わることができ、コミュニティも広がりました。

5-8. 学外のコミュニティとの交流について

特にありません。

5-9. 日本から持参してよかったもの

電子レンジ用炊飯器、折り畳み式電気ケトル、インスタント味噌汁、スリッパ、日本のお菓子など

5-10. 日本から持参したが不要だったもの

変圧器

5-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

友達と会った時、会話の初めに必ず“How are you doing?”と聞かれるので、私も必ず聞くようにしていました。車が道を譲ってくれた時は、会釈ではなく片手を挙げて感謝を伝えるのが主流でした。麺をすするのはマナー違反なので気を付けていました。チップは払うべき場所と払わなくて良い場所の区別が難しく、周りの友人に合わせるようにしていました。またイギリス人は噂通り本当に傘をささないことに驚きました。道ですれ違った時に目が合うとニコッと笑ってくれる人がとても多く、素敵な習慣だなと思いました。

5－1 2. 余暇の過ごし方

旅行

スコットランド・エディンバラ	期間：2024年3月2日～4日（2泊3日）
ベルギー・ブリュッセル	期間：2024年3月26日～28日（2泊3日）
イングランド・ロンドン	期間：2024年4月4日～6日（2泊3日）
フランス・パリ	期間：2024年4月8日～4月11日（3泊4日）
スペイン・サラゴサ/バルセロナ	期間：2024年5月13日～16日（3泊4日）
イタリア・ヴェネツィア/ローマ	期間：2024年5月16日～20日（4泊5日）

その他 ＊気分転換やストレス発散法など。

寮のコモンルームにピアノが置いてあったので、暇なときに1人で弾きに行っていました。またKeele Hallという建物の近く
の景色がとてもきれいなので、よくその周辺を散歩していました。辛い時は家族とビデオ通話をして、気分を切り替えて
いました。

6. その他

6－1. 留学希望者へのアドバイス

留学準備はなるべく早いうちから進めておいた方が良いです。語学試験のスコアもそうですが、留学先大学への提出物や
パッキングなども直前に焦ってやるが多かったので、時間に余裕を持って進めるべきだったと反省しています。また自
分の語学力に自信がなくて留学に行くか悩んでいる人がいたら、是非挑戦してみてほしいです。私は元々自分の英語力にそ
れほど自信がなく、最初の頃は留学先でもいくつかトラブルがありましたが、最終的には何とかなし、生活に慣れて友達
ができるうちに、英語を話すことへの抵抗感もなくなり、毎日が本当に楽しくなります。

6－2. 留学を終えて

＊海外派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がついたこと、不安に思うことなど、自由に記述してください。

今回の留学は私にとってほぼ初めての海外で、初めての一人暮らしでもあり、不安もたくさんありました。留学初日から乗
り継ぎに間に合わなかったり、ロスバゲしたりと災難続きで心が折れかけましたが、家族や友人のサポートもあり、何とか
最終日まで乗り越えることが出来ました。右も左もわからない私に、親切に接してくれた大勢の方々に心から感謝していま
す。今後は私が千葉大学にいる留学生の方達に、何らかの形で力になりたいと思っています。

留学というのは、行く前に想像していた「キラキラして楽しいことばかり」なものではなく、辛いこともたくさんあり、孤
独感を感じたり自分の実力を突きつけられたりするものでもあります。ですがそれらの経験を思い返してみても、留学に
行ったことを後悔したことは一度もありません。それらの辛い経験にも意味があり、それを乗り越えた先に得られるものは
一時的な辛さの何倍も大きいものです。留学生活を通して様々なバックグラウンドをもつ人々と関わり、異なる文化や自分
になかった考え方・価値観に触れ、今まで知らなかった世界を見ることができました。また日本にいた時より自分ひとりの
時間が多くとれる分、今後自分が勉強したいことや、将来やりたいことについて考え、自分と真剣に向き合うきっかけにも
なりました。そして何より、たくさんの大切な友達に出会うことができました。彼らのおかげで私の留学生活は毎日が楽し
くて仕方ありませんでした。本当に素敵な仲間と出会い、様々なことを体験したこの5カ月間は、人生で最も充実した忘れら
れない思い出になりました。